
第9回環境コミュニケーション大賞

～ 募 集 の ご 案 内 ～

◆環境報告書 部門

◆環境活動レポート 部門

◆テレビ環境CM 部門

環境に関するさまざまな情報を幅広いステークホルダーに伝える環境コミュニケーションは、いまや事業者等にとって欠かせないものとなっています。その手段としては、「環境報告書」や「環境活動レポート」などのほか、「テレビコマーシャル」にも注目が集まっています。

環境コミュニケーション大賞は、表彰を通じて事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的に毎年実施されているものです。表彰部門は、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）報告書や持続可能性報告書なども含む環境報告書等を対象とする「環境報告書部門」、エコアクション21に基づく環境活動レポートを対象とする「環境活動レポート部門」、テレビ放送で放映された環境コマーシャルを対象とする「テレビ環境CM部門」の3部門です。

主催：財団法人 地球・人間環境フォーラム

後援（予定）：環境省 日本経済新聞社

協力：財団法人 地球環境戦略研究機関 持続性センター

第9回環境コミュニケーション大賞

[環境報告書部門] [環境活動レポート部門]

* 募集要項 *

1. 表彰部門・賞の種類

[環境報告書部門]

- 環境報告大賞（環境大臣賞）
 - ・最もすぐれた環境報告書
 - 持続可能性報告大賞（環境大臣賞）
 - ・環境報告書としてすぐれていることに加えて、持続可能性の視点から社会側面に関する記述に最もすぐれた報告書
 - 環境報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）
 - ・環境報告大賞に次いですぐれた環境報告書
 - 持続可能性報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）
 - ・持続可能性報告大賞に次いで、持続可能性の視点から社会側面に関する記述にすぐれた報告書
- (注) ここでいう持続可能性報告とは、報告範囲を環境側面はもちろん社会側面にまで拡大し、持続可能性や社会的責任を意識したものをさす。
- なお、上記の大賞・優秀賞該当のうち、過去通算3回以上大賞または優秀賞を受賞している事業者の応募については、「環境報告マイスター賞」として大賞・優秀賞の受賞通算回数を示して、特別に表彰される。
- 奨励賞
 - ・規模の大きくない事業者やサイト単位の環境報告書、または取り組みを始めて間もない事業者の報告書であって、工夫や努力が認められるもの。

※環境報告書部門の選考にあたっては、業種、規模等の違いが勘案される。

[環境活動レポート部門]

- 大賞（環境大臣賞）
 - ・最もすぐれた環境活動レポート
- 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）
 - ・大賞に次いですぐれた環境活動レポート

2. 募集対象

2004年10月から2005年9月までに発行された「環境報告書(環境・社会報告書、サステナビリティ報告書、CSR報告書なども含む)」及び「環境活動レポート」。環境活動レポートについては、エコアクション21認証・登録制度により認証・登録をした事業者の、環境省策定「エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版」に基づく環境活動レポートであること。

なお、電子媒体による報告書やレポートも応募できるが、選考・審査体制の制約から、表示画面を印刷したものを提出する(必要部数は「4.応募方法」に示す通り)。更に、オフラインで閲覧できるように該当情報を収録したCD-ROM等を必要部数提出する。審査は、印刷物として提出された報告書/レポートに基づいて実施されるが、審査過程においてCD-ROM等に収録された電子情報も審査の対象とする。審査範囲は報告書/レポート本体の他、関連情報の内サイト情報、データ集、概要版等に限られ、参考情報であっても商品情報等は対象とならない。

(注)「エコアクション21」とは

環境省が2004年4月に、従来の環境活動評価プログラムーエコアクション21を全面的に改定したもの。中小規模の事業者を対象に、環境への取り組みを効果的・効率的に行うシステムを構築するとともに、環境への取り組みに関する目標を持ち、行動し、結果を取りまとめて評価し、報告するための方法を提供したもので、環境活動レポートガイドラインを含む。

3. 応募資格

特に制限はなし。自治体や学校等で作成したもの、工場、事業場、支店等のサイト単位のものも応募できる。

4. 応募方法

「第9回環境コミュニケーション大賞応募申込書(環境報告書部門・環境活動レポート部門用)」に必要事項を記入の上、環境報告書部門に応募の場合は環境報告書 25部、環境活動レポート部門に応募の場合は環境活動レポート 20部を添付し、2005年10月21日(金)までに第9回環境コミュニケーション大賞事務局まで送付する。(募集期間 2005年9月16日～10月21日) ※なお、送付された環境報告書/環境活動レポートは返却しない。

5. 選考の方法

ワーキンググループ委員会による一次選考を経て、学識経験者等からなる審査委員会において選考審査を行う。

<環境報告書部門・環境活動レポート部門審査委員> (委員長を除く 50音順：予定)

(委員長)山本 良一	(東京大学生産技術研究所教授)
岡崎 洋	(財団法人地球・人間環境フォーラム理事長)
鎌形 浩史	(環境省総合環境政策局環境経済課長)
河口 真理子	(株式会社大和総研経営戦略研究所主任研究員)
河野 正男	(中央大学経済学部教授)
後藤 敏彦	(環境監査研究会代表幹事)
崎田 裕子	(ジャーナリスト/環境カウンセラー)
佐藤 泉	(弁護士)
竹内 恒夫	(財団法人地球環境戦略研究機関持続性センター エコアクション21事務局長)
福島 哲郎	(株式会社日本環境認証機構顧問)
藤野 耕一	(ATCグリーンエコプラザ館長)
緑川 芳樹	(グリーンコンシューマー研究会代表)
森下 研	(株式会社エコマネジメント研究所代表)

なお、ワーキンググループ委員については、選考結果発表時に公表される。

6. 選考基準

[環境報告書部門]

- 環境省の環境報告書ガイドラインに沿った環境報告書であることが望ましい。
- 環境報告にあたっての基本的要件(対象組織、対象期間、対象分野)が明記されていること。
- 環境報告書に必要と考えられる項目(①基本的項目②環境配慮に関する方針、目標及び実績等の総括③環境マネジメントに関する状況④環境負荷の低減に向けた取り組みの状況)が適切に盛り込まれていること。
- 適切な指標の活用をはじめ、事業の特性に応じて内容を充実するなど(例：不利な情報、サイトに関する情報、環境会計等)活動に関わる重要な環境側面の状況が適切に記述されていること。
- 経営層のコミットメントや適切な目標の設定・管理などにより、取り組みの進展につながるものとなっていること。
- わかりやすい記述や信頼性を高める工夫など、コミュニケーションツールとしての有効性を高める工夫がなされていること。
- 事業活動のライフサイクル全体を踏まえ、事業エリア内のものだけでなく、原材料・部材の購入、輸送、製品・サービスの使用・廃棄等の事業活動の上流・下流までを含めた環境配慮に関しても適切に記述されていること。
- その他、独自の工夫により特にすぐれた点があるものや先導的な試みとして評価されるものであること。
- 持続可能性報告大賞・優秀賞の選考にあたっては、環境報告書としてすぐれていることに加えて、報告範囲を環境側面だけにとどめず社会側面(例えば、労働安全衛生、人権、雇用、地域社会、社会貢献、製品安全等)にまで拡大し、持続可能性や社会的責任を意識したものとしてすぐれていること。

[環境活動レポート部門]

- 環境省策定「エコアクション 21 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン 2004年版」に基づく環境活動レポートであること。
- 事業の特性に応じた環境への負荷や取り組みの状況が適切に把握されていること。
- 現状を踏まえて積極的な取り組みが打ち出されており、より高度な取り組みへの発展の可能性がみられること。

7. 結果発表

2006年1月上旬に発表予定。受賞者には別途連絡。

※結果発表後に、受賞報告書や環境活動レポートに重大な過失による虚偽記載等が明らかとなった場合や、受賞者の重大な法令違反等が明らかとなった場合には、受賞が取り消されることがある。

8. 表彰式

2006年1月下旬に東京都内で表彰式を開催予定。

第9回環境コミュニケーション大賞

[テレビ環境CM部門]

* 募集要項 *

1. 表彰部門・賞の種類

○大賞（環境大臣賞）

・最もすぐれたテレビ環境CM

○優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

・大賞に次いですぐれたテレビ環境CM

2. 募集対象

事業者等が環境負荷の低減に配慮した製品等や環境に配慮した自らの行動を伝える、あるいは環境保全に配慮した行動等を促す目的をもって、視聴者との環境コミュニケーションを図るために制作したテレビ放送向けの環境CMで、日本国内において、2005年9月までに一般視聴者が受信可能なテレビ放送（地上波、BS波、CS波、ケーブルテレビ）で実際に放送されたものを対象とする。

※ただし、前回大賞において受賞したテレビCMと同一のものは応募できない。

3. 応募資格

特に制限はなし。事業者の他、自治体や学校、団体等で制作したものも応募できる。

ただし、応募できるのはテレビCMの制作を発注した事業者等で、制作を受注した制作会社等による応募は受け付けない。

4. 応募方法

「第9回環境コミュニケーション大賞応募申込書(テレビ環境CM部門用)」に必要事項を記入の上、応募するテレビCMを収録したCD-ROMまたはDVD-ROM(いずれもWindows Media Playerで再生可能な形式で保存)1枚を、2005年10月21日(金)までに第9回環境コミュニケーション大賞事務局まで送付する。

(募集期間 2005年9月16日～10月21日)

ただし、上記の記録媒体での応募が困難な場合は、VHSテープによる応募も受け付ける。

※送付されたCD-ROM、DVD-ROM、VHSテープは返却しない。

※応募されたテレビCMは、環境コミュニケーション大賞以外には使用しない。

5. 選考の方法

応募作品は、学識経験者等からなる審査委員会において選考審査を行う。

<テレビ環境CM部門審査委員> (委員長を除く50音順：予定)

(委員長) 山本 良一	(東京大学生産技術研究所教授)
大橋 照枝	(麗澤大学国際経済学部教授)
鎌形 浩史	(環境省総合環境政策局環境経済課長)
佐野 寛	(目白大学人間社会学部教授/株式会社モスデザイン研究所代表)
高岡 美佳	(立教大学経済学部助教授)
中原 秀樹	(武蔵工業大学環境情報学部教授/グリーン購入ネットワーク代表)
安川 良介	(社団法人日本広告業協会環境小委員会委員)

6. 選考基準

[テレビ環境CM部門]

- 環境情報の内容そのものが環境配慮の観点からすぐれていること。
- 誠実なコミュニケーションを積極的に図っていること。
- 視聴者に対するアピール力と説得力があること。
- 視聴者に必要な環境情報を正確に伝えていること。
- ゆたかなエコライフを切り拓く新感覚、新トレンドが伝わること。

7. 結果発表

2006年1月上旬に発表予定。受賞者には別途連絡。

※結果発表後に、受賞者の重大な法令違反等が明らかとなった場合等には、受賞が取り消されることがある。

8. 表彰式

2006年1月下旬に東京都内で表彰式を開催予定。

第9回 環境コミュニケーション大賞応募申込書
(環境報告書部門・環境活動レポート部門用)

応募年月日 平成17年 月 日

応募部門 (該当する部門に○印)	() 環境報告書部門		() 環境活動レポート部門		
「環境報告書」又は 「環境活動レポート」の名称 発行年月日	平成 年 月 日発行				
初めて環境報告書を作成した時期(注1)	平成 年 月 日作成				
会社名、事業場名					
「環境活動レポート」の場合 認証・登録番号					
本社所在地	〒				
従業員数					
業務内容		業種(注2)			
「環境報告書」又は「環境活動レポート」の特徴、アピール点(600字以内・別紙不可)					
担当者及び 担当者連絡先	所属部署			役職	
	氏名				
	住所	〒			
	電話		FAX		
	E-mail				

(注1) 環境報告書部門に応募される場合は、初めて報告書を作成された時期をご記入ください。

(注2) 裏面の業種一覧表より最も当てはまる番号をひとつ選んでください。

「環境報告書」25部又は「環境活動レポート」20部を添えてお申し込みください。(応募申込書は1部)

※電子媒体(MSWord版)の応募申込書は、<http://www.gef.or.jp/eco-com/>よりダウンロードすることができます。

電子媒体の応募申込書を使って応募される場合は、プリントアウトしたものの1部を応募報告書等に添付するとともに、応募申込書のファイルをE-mailにてeco-com@nifty.comまでお送りください。

応募・問合せ: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1 虎ノ門10森ビル5F (財)地球・人間環境フォーラム内 第9回環境コミュニケーション大賞事務局
TEL: 03-3592-9735 FAX: 03-3592-9737 E-mail: eco-com@nifty.com

業 種 一 覧 表

建設業	1 総合工事業・職別工事業・設備工事業	流通業 (小売業)	30 百貨店
製造業	2 食料品・飲料・飼料・たばこ		31 スーパー
	3 繊維・衣服・その他繊維製品		32 専門店
	4 木材・家具・木製品		33 生活協同組合
	5 製紙業・紙加工品		34 コンビニエンスストア
	6 出版・印刷		35 その他小売業
	7 化学工業・薬品製造		飲食店
	8 石油製品・石炭製品	金融・保険業	37 銀行・信託業
	9 プラスチック製品		38 証券・商社取引業
	10 ゴム製品		39 保険業
	11 鉄鋼業		40 その他金融・保険業
	12 非鉄金属		不動産業
	13 金属製品	サービス業	42 物品賃貸業
	14 自動車製造業		43 旅館、ホテル、その他の宿泊所
	15 電気機械器具		44 洗濯・理容・浴場業
	16 電子製品製造業		45 娯楽業
	17 その他製造業		46 放送業
	電気・ガス 等供給業他		18 電気業
19 ガス業		48 専門サービス業（法律・会計・設計 事務所等）	
20 水道業		49 医療業	
21 その他		50 その他サービス業	
運輸・通信 業	22 運輸業	行政機関	51 地方公共団体等
	23 通信業	教育機関	52 国立大学法人、学校法人
	24 その他関連業（倉庫業等）	その他	53 1～52 までに属さない業種
流通業 (卸売業)	25 各種商品		
	26 繊維・機械器具・建築材料等		
	27 衣服・飲料・家具等		
	28 商社		
	29 その他卸売業		

※上記より最も当てはまる番号をひとつ選んで「第9回 環境コミュニケーション大賞応募申込書」の業種欄に記入してください。

第9回 環境コミュニケーション大賞応募申込書
(テレビ環境CM部門用)

応募年月日 平成17年 月 日

CMのタイトル			
CMの長さ	秒	制作年月日	年 月 日
CMの放映実績	(期間) ~		
	(主な放映放送局)		
会社名、事業場名			
本社所在地	〒		
CMのねらい、コンセプト (200字以内・別紙不可)			
CMのアピール点 (200字以内・別紙不可)			
他の表彰制度での受賞歴			
担当者及び 担当者連絡先	所属部署		役 職
	氏 名		
	住 所	〒	
	電 話		F A X
	E - m a i l		

応募申込書はCM1作品ごとに1枚作成してください。
(複数作品を応募する場合は、1枚のCD-ROMまたはDVD-ROM(またはVHS)にまとめた送付も可。
その際は、応募申込書がどの作品に対応するものかわかるようにすること。)

※電子媒体(MSWord版)の応募申込書は、<http://www.gef.or.jp/eco-com/>よりダウンロードすることができます。
電子媒体の応募申込書を使って応募される場合は、プリントアウトしたもの1部を応募作品(CD-ROM、DVD-ROM
またはVHS)に添付するとともに、応募申込書のファイルをE-mailにてeco-com@nifty.comまでお送りください。

応募・問合せ先: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1 虎ノ門10森ビル5F (財)地球・人間環境フォーラム内 第9回環境コミュニケーション大賞事務局
TEL: 03-3592-9735 FAX: 03-3592-9737 E-mail: eco-com@nifty.com

応募・問い合わせ先

財団法人 地球・人間環境フォーラム

第9回環境コミュニケーション大賞事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-18-1 虎ノ門10森ビル 5階

TEL: 03-3592-9735 FAX: 03-3592-9737

URL: <http://www.gef.or.jp/eco-com/>

E-mail: eco-com@nifty.com